



LEKSELL
GAMMA KNIFE
SOCIETY
JAPAN

第17回 日本ガンマナイフ研究会 サテライトセミナー

2017年2月5日(日) 16:00~17:30
ソラシティカンファレンスセンター

座長

千葉大学医学部脳神経外科

講師 樋口 佳則 先生

教育講演

「NKT細胞標的がん治療：誰にでも どんながんにも」

国立研究開発法人理化学研究所

統合生命医科学研究センター

特別顧問 グループディレクター

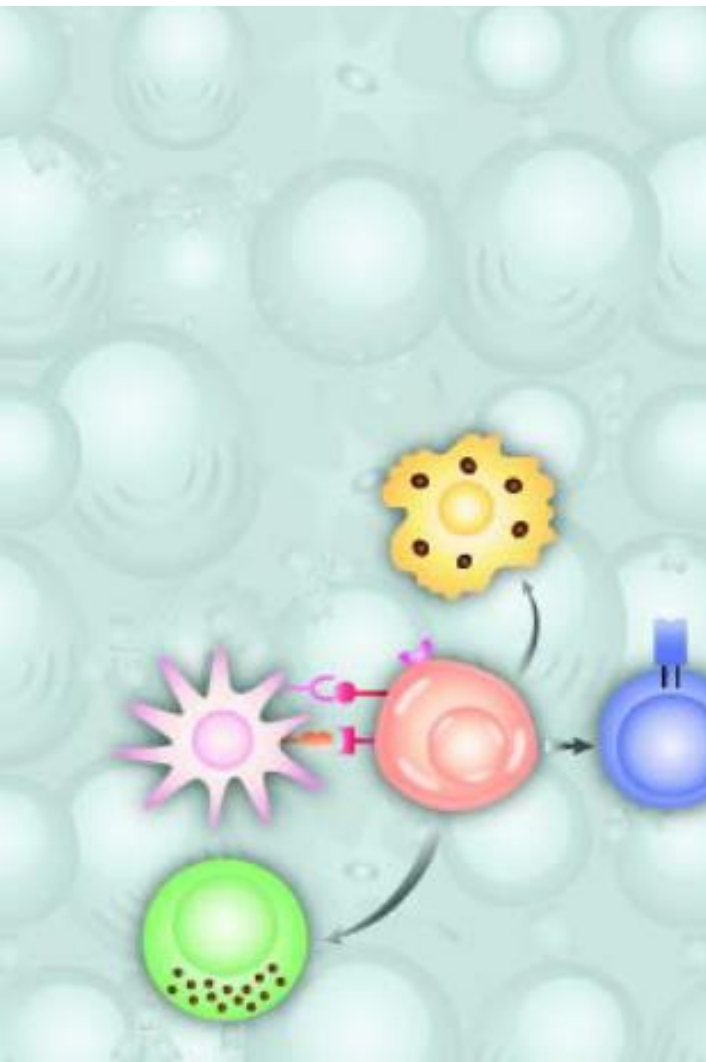
谷口 克 先生

特別発言

「NKT細胞治療の前向き観察研究デザインに関して」

千葉大学大学院医学研究院 グローバル臨床試験学

准教授 佐藤 泰憲 先生





国立研究開発法人理化学研究所
統合生命医科学研究センター
特別顧問 グループディレクター
谷口 克 先生

御 略 歴

千葉大学医学系大学院で博士号を修得後、千葉大学免疫学助手(1974-1979). 1980年同教授就任、24年間在籍. その間千葉大学医学部長(1996-2000) 日本免疫学会長(1997-1998)。

2001-2013年3月まで理化学研究所免疫アレルギー科学総合研究センター初代センター長。2013年4月から現職。

1986年NKT細胞Va14抗原受容体を発見、1990年生理条件下でクローン性増殖するNKT細胞を発見、1997年NKT細胞リガンドが糖脂質であることを発見。同年NKT細胞欠損マウスを開発。またNKT細胞標的がん治療を開発し、先進医療Bに認定。

Nature、Scienceをはじめ400編以上の論文を執筆。ベルツ賞1977, 野口英世記念医学賞1993, 上原賞2004, 紫綬褒章2004、瑞宝中綬章2016受賞。2014年米国免疫学会が免疫学の進歩に貢献したとして“Pillars of Immunology”の一つに選ばれた。